

高砂市議会 第19回 議会報告会 (意見交換会記録)

令和7年4月27日(日) 13時30分から15時(意見交換会は14時30分から約25分)

場所：高砂市役所 分庁舎2階(全体での説明の後、3グループに分かれて意見交換)

Aグループ議員(北野、松野、森、岩見、大西、春増、横田)

質 問	説 明 等
<p>近隣に巨大病院が2つあるが、市民病院では若い医師のキャリアアップが出来ない状況では。ある程度キャリアを積んだ医師にアプローチをして回復期に勤めてもらうなど理にかなった取り組みについては。</p>	<p>危機感を持ちその様な医師の雇用形態がある事も理解し取り組んでいる。救急の受け入れ・大災害時の受け入れ等公立病院の必要性は十分に理解しているが直営にこだわらず指定管理も含めてしっかりと医師を確保することで持続可能な病院運営ができるようにと考えている。やる事が全て良い結果に繋がるとは限らないが将来に向けた努力をしていく。現状では救急の受け入れも多くできていないのが現実であり、このまま基準外が続くと高砂市の財政が破綻してしまう。</p>
<p>昔と違い受診者が高齢化し人数も減っているが、近い病院なので診てもらいたい。昔のイメージで判断して受診しない方もいると思うが救急は近隣の大きい病院でもいいので普段から診てもらえる病院は必要。</p>	<p>医師やスタッフを揃える事が大事なので医師確保に向け取り組んでいる。</p>
<p>開業していないセカンドキャリアの医師でも安心できるので増やしてほしい。</p>	<p>現在は総合診療がスタートしており診療科だけでなく病院全体で取り組んでいる。</p>
<p>医師不足でなぜ赤字になるの？</p>	<p>内科医師1名増えると1億円増える。絶対的な医師不足が要因。高度医療は他の病院、回復期は市民病院との声もあるが若い世代では受診したい診療科目が無いので行った事もない人も多く無関心な面もある。</p>
<p>市民への説明はいつ。</p>	<p>9月以降となる。議会後に説明会となる予定。</p>
<p>市民としては残してほしい。PRを広くしてほしい。</p>	<p>ドクターバンク等で医師は探している。今年度より市内の元開業医も入った。</p>
<p>全国で下水道の事故が続いている。水道料金を値上げしたがどう管理している。</p>	<p>まずは水源地を人口数に見合ったダウンサイジング工事を進めている。水道料金で直す決まりはあるが、一般予算でも可能となっている。地震や災害等で破損して送水出来なくなるような事がないように工事している。</p>

B グループ（藤森、坂本、山田、鷹尾、川端、鈴木）

質 問	説 明 等
高砂市民病院の資料、繰出金は当初予算総額の何パーセントにあたるのか。	正確な数字を今は持ち合わせていないので即答できない。
特別委員会の中間報告について国の動向について記載する方が良い。	建替等に関する議論はこれからであり病床数についても将来構想では127床で試算されているが、これから国・県などの支援事業についても検討となる。
自民党、公明党、維新合意で医療費4兆円の削減目標を念頭に社会保険料引き下げ議論を本格化させるとのこと。国の方向性、決断も踏まえて病院を検討していただきたい。	様々なことを含めて、調査専門機関により調査する事となっている。中間報告が9月に、12月には最終報告が出される予定。国・県の動向また神戸大学等の動向など全て含めた中での報告が出てくると思われるのでそれを踏まえて議会としての対応を考えたい。
市民病院の赤字は今に始まったことではなく随分前から続いている。進め方が遅いのでは？と感じているやっとな動き出したのかという印象。また医師の数だけを求めても改善にはならないのでは。高砂市として世間の流れを重視するだけではなく市としての市民病院の基礎づくりを念頭に取り組むべきでは。	国や県の動向だけでなく現状おられる医療従事者の想いも大切と考えている。市民病院の将来構想をまとめている。それを実現するための手段としての経営形態や病院の老朽化対応含めて検討が必要と考えている。なぜここまで時間がかかったのかと思われて当然かもしれない。改革プランも何段階もやってきたが達成しない現状が続いた。今回は半年後に必ず次のステップにいくという決意がある。
市民病院の中間報告について病院管理者や市長に求めるだけでなく、議会としても提案をしていく必要があるのでは。	これまで市民病院経営改善特別委員会の中で介護医療院や寄附講座の開設など様々な提案をしている。
埼玉県八潮市での下水管老朽化に伴う道路陥没事故を受け、このような機会に報告して頂きたかった。	下水管の老朽化について高砂町が古い順に対応できている。また高砂市の下水管は事故が発生したような大きな管は入っていないので大きな崩落はない。下水管よりは上水管の方が老朽化対策が必要でそのためにも水道料金を上げさせて頂いた。漏水が発生している現状もあるので漏水あればすぐ知らせて頂きたい。
市民病院についてソフト面でより良くしていく必要がある。職員も頑張っていると思うが対応が悪い時もある。行きやすい雰囲気づくりができれば、市民も加古川中央ではなく高砂市民病院を選ぶ。	(時間の都合上ご意見をお聞きするのみとなった)
自転車を通れる歩道について順次修繕頂いているが修繕が荒くボコボコしている。自転車道はブルーのラインがあり走りやすくなったかもしれないが歩道につい	(時間の都合上ご意見をお聞きするのみとなった)

ては丁寧な修繕を求めたい。	
じょうとんバスは便数が少なくなり大変不便	(時間の都合上ご意見をお聞きするのみとなった)
地域交流センターについて、公民館の建物のままで非常に古い。財政的制約はあるだろうが交流できる施設になるよう検討いただきたい。	(時間の都合上ご意見をお聞きするのみとなった)

Cグループ (今竹、石崎、入江、芝本、島津、迫川)

質 問	説 明 等
市民病院について、多額の赤字が続いていくことに驚いた。基準外繰出金と赤字額の違いが分からなかった。	公立病院の会計で必要な費用は基準内繰出金という最低限病院を確保する部分があり、それ以上に支出が増えた場合は基準外繰出金を支出します。建物や設備の維持経費等で必要部分が基準内。それ以外は基準外でわかりやすく赤字と表現する。
平成 27 年から医師の増員に向けて取り組んでいるができていないことから、持続可能な経営の継続は困難ではないか。	国や県にも要望し複数の大学医局にもお願いに行っているものの医師の派遣は困難な結果となっている。経営責任者や当局には諦めずに最後まで努力するように意見している。
加古川中央市民病院とのすみ分けはできているのか。	急性期という高度な手術が必要な患者は加古川中央に、2 週間程度で退院しなければならないので、その後の回復期は高砂市民病院にとすみ分けはできているものの経営改善まで至っていないのが現状。
加古川中央市民病院を選ぶ市民が多いのが現実だ。適正規模に建て替えとあったが今後はどうなるのか	公営・民営も含め議論していくが移行するにしても調査分析をしっかりと行うよう議会としても追求していく。
デジタル商品券について	今までのキャッシュレスポイントとの違いについて説明
JR 曾根駅に着いて、南側からのアクセスが良くなったと聞いたが、北側の改良はないのか。	歩道の整備やロータリーの改良など北側の改良点も多くある。

以上